

とんげねえ〜

高千穂町国民健康保険病院通信

第1号 H24.3.12

発行：院内広報委員会

私たちは以下の基本理念の下、地域医療のため粉骨砕身努力します。

【病院基本理念】

— 地域住民に信頼され安全で質の高い医療の提供を目指します —



〜院長挨拶〜



高千穂町国民健康保険病院広報誌発刊にあたり、ごあいさつ申し上げます。

昨年は自治体立優良病院として、二度目の総務大臣表彰受賞という病院にとってうれしい出来事がありました。泌尿器科医の退職、内科医長の病気休養と厳しい病院運営が続いております。

以前から医師不足をどうやって改善していくか、頭を痛めていたところへの追いつちになりました。

医師確保のための行動は町長、事務長とともにできるだけ努力を行っていますが、困難な状況です。

4月から宮崎県のご配慮で自治医大卒業の先生を1人増員していただくことになり、最悪な事態は避けられる見通しです。

私も3月で定年退職することになりました。

30年前、医局長から「高千穂に行ってくれ。」と言われて、何も考えず、どういう病院かも知らないで、雪の降る高千穂にやってきました。

赴任時は病院の医師は前院長と2人だけでしたが、町長や病院のスタッフから大歓迎を受けたのを思い出します。まさか、こんなに長く勤めるとは全く考えていませんでした。

長い間お世話になりました。無事定年まで勤務できたのも、病院職員、行政、住民の方々の支えがあってこそと心から感謝いたします。

この度、広報委員長を中心に長年の懸案でした広報誌が発刊されることになりましたことはまことに喜ばしい、明るい出来事となりました。

広報誌を十分に活用して、病院の現状を地域住民のかたに、理解していただいて、病院の応援団になっていただくことが、これからの地域医療を守り、発展させていくうえで、大切なことだと思います。

これから次期院長を中心に病院職員が一体となって、他職種への配慮を忘れず、独りよがりにならないように注意して、自分がまわりからどう見られているか考えながら、病院の発展をめざしてください。

ほんとうにありがとうございました。

高千穂町国民健康保険病院 院長 柴田 和哉

〜お疲れさまでした〜

編集部より

本年3月31日を持って柴田院長が退職の時を迎えます。長い間町立病院を支えていただき、ありがとうございました。そして、本当にお疲れさまでした。



ここで、後任の院長を紹介します。

箕田 誠司（みた せいじ）先生です。当院に来られる前は済生会熊本病院外科にて副部長としてご活躍された先生です。先生よりお言葉をお預かりしております。



はじめまして。箕田誠司と申します。

1957年熊本生まれです。熊本大学医学部卒業から今の済生会病院に至るまで外科医として培った経験を生かし、柴田院長の築かれたりっばな病院をさらに発展させ、地域住民の皆様の健康福祉と職員の方々の幸せのために努力します。

よろしく申し上げます。

防災訓練が行われました！

平成23年11月25日の防災訓練は病院内で火災が発生したとの想定で実施されました。近隣の消防団の協力も得て、病棟からの患者様の救出など、今までにない大がかりな訓練となりました。また、仮設テント内に煙を充満させ、視界不良の中を進む訓練や災害時に階段からスムーズに救出する為の避難器具体験なども併せて行いました。



↑写真は毛布を利用した非常階段からの救出の様子

トリアージ訓練が行われました！

平成23年11月17日、バイパス道で大型トラック、マイクロバスの衝突事故を想定しトリアージ訓練を行いました。一度に多数の負傷者が運び込まれ、スタッフは優先順位にて治療を行う手順を学ぶことができました。病院としての使命、役割を果たすために、これからもこうした訓練に積極的に取り組みます。



↑写真は正面ロビーでのトリアージの様子

講演会が開催されました！！

去る、平成23年12月2日（金）に、国立病院機構長崎病院院長の森俊介先生を講師にお招きし、「安心して死ねる町づくり」と題した講演会が開催されました。講演会の様子について副院長の興格知子先生にまとめていただきました。

【森俊介先生「安心して死ねる町づくり」講演会ご報告】

興格 知子

人生の最期を不本意なまま町外で迎えなくてすむようにしたい、という思いから、昨年7月に「終末期医療を考える会」を有志で立ち上げました。その活動の中で、「安心して死ねる町づくり」を人口1、2万人の町で実現した長崎の森先生と出会い、幸運にも当町へ講演にお招きできました。講演会は保健所の県北在宅緩和ケア推進連絡協議会との共催ということになり、椎葉村等の遠方の方も含め約170名の参加がありました。

先生は学生運動の挫折も経験した世代で、アンフェアな社会を何とかしたい、という怒りが原動力だそうです。公衆衛生学のフィールド活動で地域を学び、その後整形外科医として地域医療に取り組みられました。「安心して地域で生まれ、生活し、死んでゆける社会」を実現したい、と考え、琴海町（今は長崎市に合併）で同じ志のある町長や保健師らとともに、15年かけて障害者やお年寄り、がんの末期の方にも優しい町づくりをされました。

①地域のつながりのあるうちに、高齢化率40%に耐えるシステム作り。

②短期計画、中期計画、長期計画、に分けた行動計画。

1) 今すぐやること：年200回の健康教室で、住民自らの健康を守る意識を作る。町立病院をかかりつけ医として、専門医療が必要な人は適切に紹介する、というシステムを確立し、黒字経営化する。

2) 10年かけてやること：町内に3つのデイサービスセンターを作り、地区の福祉活動全般の中核とする。認知症と精神障害者のためのグループホーム各3か所、50床の特別養護老人ホーム、50床の養護老人ホームを作る。40人のホームヘルパー体制を作る。町営住宅の一部を障害者専用とする。

3) 30年かけてやること：町の未来を背負う子供達に、地域に貢献する意識を教育する。

③個々の事例を中心に、既存のものを生かして安心に暮らし、看取れるシステムを作る。その場合、健康教室等を通じて出会った地域のリーダーや核になれる人にも協力してもらう。

④社会を変えようとするとき、3人の中心人物がいて、30%の賛同者がいれば、達成できる。

以上が大まかな内容です。詳細は録音テープやDVDがありますので、貸出いたします。

【部署紹介】

第1号広報誌では、医事課、外科外来、整形外科外来の3つの部署を紹介します！

【医事課】

医事課の紹介をさせていただきます。

私たちは1階受付に15名、病棟クランク2名、医師補助に3名、計20名で仕事をしています。

1階受付は、主に窓口対応、フロアー係、メッセージャー（カルテ運搬）、電話対応、会計、算定（外来患者、入院患者）をしています。

病棟クランクは、主に病棟での書類整理、窓口対応、入院患者のデータ入力等をしています。

医師補助は、主に内科の医師について、電子カルテの入力をサポートし、書類作成、オーダリング入力などを行っています。

各部署に携わって職員に助けられています。その各部署で仕事の内容は異なりますが、皆さん和気あいあいと仕事に励んでいます。

スタッフ1人1人個性があってとても楽しい職場です。皆様もお気軽にお声を掛けてください！



【外科外来】



当院外科外来は病院長をはじめ、3名の外科医と2名の看護師で外来診療にあたっております。外科診療とともに、内視鏡（胃内視鏡・大腸内視鏡）等の検査をしております。

また、地域の方々の日頃の健康の再確認をしていただくために、住民検診の再検査等の診療にも努めております。

今後も、地域医療の向上のために、スタッフ全員で努力して参ります。

患者様も、どのような些細なことでもかまいません、お気軽に、身体の心配ごとや、ご家族の心配事などありましたら、お尋ねください。



【整形外科外来】



整形外科外来は、医師2名、看護師2名で外来診療を行っています。整形外科は身体の骨・関節・腱・靭帯・筋肉・神経など運動器と呼ばれる部分をみる診療科です。

患者様の症状に応じて、検査（レントゲン・血液・骨密度など）や、手術、リハビリを行います。病気やけがの治療はもとより、その人の運動機能を回復させることを目的としています。

また、その人に残された機能を活かし、少しでも安楽な生活に近づけるよう支援していきたいと考えています。1人1人の患者様の要望に的確に応えていけるようスタッフ一同努力していきたいと思えます。



「旬」で豆知識！！

ようやく厳しい寒さもどこかへ行こうとしてくれている今日この頃ですが・・・まだまだ気はめげません。

そ・こ・で！旬の食材を沢山食べて身体を元気に。ということで、今回は・・・今から旬が到来する【タラの芽】の栄養素や効能について紹介します。

是非、参考にされてみてください！

タラの芽

タラの芽は、山菜の王様と言われ、独特の風味とほろ苦さがあります。

葉酸をたくさん含み、血行の改善や動脈硬化の予防、認知症の予防効果があるとされます。

また、ビタミンEと食物繊維も豊富で、整腸作用や老化抑制の効果も期待されます。

ビタミンEは油との併用で吸収率が高まるため、揚げ物がお勧めです。



【病院からのお知らせ】

※休診日・夜間の出入り口について

防犯対策のため、夜間（午後6時～翌朝8時）と土日祝日（年末年始を含む終日）の院内への出入口を正面玄関の1ヶ所のみとさせていただきます。
また、深夜など正面玄関も閉まっている時間帯に御用の方は、玄関脇の夜間受付ボタンにて警備員までご連絡ください。

※院内での携帯電話の使用について

病院内で携帯電話を使用する場所は以下の通りです。

- ・1階ロビーの公衆電話付近。
- ・3階・4階の食堂前。

それ以外の場所では医療機器の動作に影響を与えたり、他の患者様のご迷惑になる恐れがありますので携帯電話の使用をご遠慮下さい。

※お薬について

お薬は非常にデリケートです。暖房器具の側や湿気が多いところに置くのはやめるようにしましょう。



【週間担当医のご案内】



	月	火	水	木	金
内科1	赤谷 由佳	赤谷 由佳	赤谷 由佳	赤谷 由佳	赤谷 由佳
内科2	-	非常勤医師	非常勤医師	非常勤医師	非常勤医師
内科3	押方 慎弥	押方 慎弥	押方 慎弥	押方 慎弥	押方 慎弥
内科新患	-	-	非常勤医師	非常勤医師	-
外科	柴田 和哉	秋月 英治	柴田 和哉	桑原 暢宏	秋月 英治
整形外科1	塩月 康弘	塩月 康弘	塩月 康弘	塩月 康弘	塩月 康弘
整形外科2	福島 克彦	福島 克彦	福島 克彦	福島 克彦	福島 克彦
泌尿器科	熊大病院医師	-	熊大病院医師	-	-
眼科	後藤 信祐	後藤 信祐	-	後藤 信祐	後藤 信祐
小児科	興梠 知子	興梠 知子	興梠 知子	興梠 知子	興梠 知子
循環器科	-	済生会医師	-	-	済生会医師
耳鼻咽喉科	-	熊大病院医師	-	-	-
皮膚科	熊大病院医師	-	熊大病院医師	-	熊大病院医師



※受付時間は、月～金、午前7：30～午前11：30、午後15：20～16：30（小児科のみ）となっておりますが、急患の場合は、休日、時間外でも受け付けております。

※都合により担当医は予約なく変更になる場合がございますのでご了承ください。

※学会、研修等への出席、その他都合により、休診、医師1名での対応となる場合がございます。その際には、防災無線でご案内いたしておりますのでお間違えのないようお願いいたします。



インフルエンザがまだまだ猛威をふるっております。
外出後のうがい・手洗いなど、予防に努めましょう！！

【高千穂町国民健康保険病院】

〒882-1101

宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井435-1

TEL: 0982-73-1700

FAX: 0982-73-1710